ニックネーム:沼津のコアサポ

2025 年 10 月 28 日(火)~10 月 30 日(木)の 3 日間、駒澤大学駒沢キャンパス緑の丘防災倉庫周辺で「駒大防災ハロウィン」が開催されました。僕は、10 月 28 日火曜日に参加しました。

アトラクション	内容
駒大防災倉庫バックヤードツアー	防災装備・備蓄・対策のチェック
防災体験	消火器噴射・けむりハウス
炊き出し訓練	防災食の調理実演・試食会
防災 VR 体験	仮想空間内で地震や火災の体験
救急救命体験	自分の胸骨圧迫(心臓マッサージ)スキルを点数化

駒大防災倉庫バックヤードツアー】

食料品・飲料水・災害時救援セット・簡易トイレ・ 仮設トイレ・おむつ・生理用品・カイロ・ガスコンロ などが備蓄されていた。学生・職員・避難してくるだ ろう地域住民の数を考えると、どれくらいの人が何日 もつ量が備蓄されているのか気になります。3号館の 裏に倉庫があったので、学生や教職員の誰かがここに 向かう連携が必要。

(防災倉庫の様子 撮影:沼津のコアサポ)



【防災体験】

消火器の噴射を体験しました。僕自身、消火器を扱うのは初めてだったのでよい景観になりました。



<消火器を扱う順序>

黄色い品を抜く→ホースの先端を持つ→レバーを 押しながら噴射する。

※低い姿勢を保ちながら、火の根元を狙う。消火器の持続時間は15秒~20秒なのでそれでも消えない場合は非難する。

(沼津のコアサポの消火の様子: 撮影者はや)

<けむりハウス>

人間には無害な煙が使われていましたが、視界がかなり悪かったです。煙は上に登っていくので上部ほど濃度が高く、下部ほど濃度が低いので低姿勢で口元をハンカチ等でふさぎながら行動することが求められます。

(けむりハウスの様子)



【炊き出し訓練】

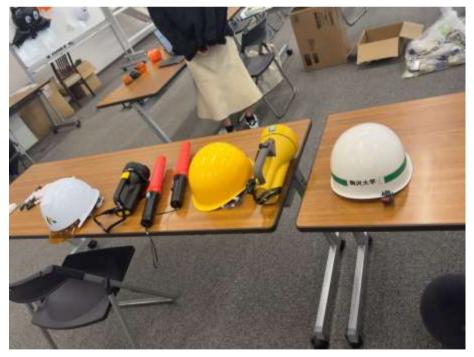
熱湯を入れて15分ほどで炊き上がる白米(α米)と、鉄板でコーンピラフが調理されていました。非常食も多種多様で、非常においしく食べられたのでびっくりしました。 ガチガチの主観、感想になっちゃってすみません。(当日の昼休みに頂きました) (保存食・保存水を頂きました。一人暮らしにはありがたいので大切にします)







(展示されていた防災装備)



【イベントを振り返って】

地理学特講 E・Fの講義の みならず、これまで地理学科 に在籍しながら受けてては、 講義内で「防災」に関してては、 頻繁に扱われてきたし、高校 までとは格段に違うレンと 高います。あらゆる災害を見 体的に災害が発生した際に災害が発生した際に災害が発生した際に 取り組み、また今後の防災に 関する課題を考えることは でやってきたことはあく

で「インプット」に過ぎないと思っています。講義が終わればそれで「おしまい」にしてしまうと、記憶や知識はいずれ忘れてしまうので、このようなイベントまたはフィールドワークなどを通して多少なりとも「アウトプット」する場が必要だと考えていました。

この様なイベントは教育機関や地域住民が主催・主体となっているケースが多いと思うので、実際イベント現場で行われるアトラクションを通じてコミュニケーションを取り、共に学ぶことで、コミュニティ形成がされ、有事の際にも円滑に非難活動を行うことができるのではないでしょうか。